

第24回公民館のつどいが開催されます

「公民館 学ばるつけよう 市民の力」

公民館のつどいは、市内の三つの公民館が一帯になって公民館のことや、日頃私たちが生活のなかで感じた疑問や社会問題などを市民のみなさんと一緒に考え学び合う場です。いかがですか、ぜひご一緒にしてみませんか。

11月27日(日)・さくら会館

■全体会 午前10時～正午

■分科会 午後1時～3時30分

■報告会 午後3時45分～5時



分科会



報告会

全体会

公民館にとって指定管理者制度ってなに？
市民にとって得なの？損なの？

公の施設に指定管理者制度が導入されることになりましたが、いったいどのような制度なのでしょう。また、公民館にとってはどうなのでしょう。

(手話通訳付き)

●助言者 荒井敏行氏(国立市公民館館長)

●企 画 公民館運営審議会

第1分科会

こんなとき、どうする？
思春期の子どものとどう向き合う！？

いじめや不登校、引きこもりなど、思春期の子どもの抱える家族の問題を、フェミニストカウンセラーが最近の事例を提供して話し合います。

●助言者 梅田君江氏(フェミニストセラピー“なかま”心理カウンセラー)

●企 画 サークル彩(本館)

第2分科会

置ある憲法 日本国憲法と私たち

日本国憲法は歴史的にどのように誕生したのか、60年の歴史を振り返ります。

●助 導 鈴木金吾氏(西多摩憲法会館幹事長)

●助言者 伊崎健宏氏(福生生活と健康を守る会事務局長)

●企 画 福生生活と健康を守る会(松林)

第3分科会

私たちも働きたい～知的障がい者の就労のねがいをかなえるために～

知的障がい者が社会の一員として働くために、障がい者の就労や、そのための援助のあり方を考えていきます。学級生も活動の一環として参加します。

●事例報告者 にじのはらっぱ学級生、
原敏雄氏(障害者求人開拓推進員)、安部省吾氏
(知的障害者 職業コンサルタント)

●企 画 青年学級にじのはらっぱ(本館)

第4分科会

終戦直後からの生活に想う

戦後60年の節目に平和への願いを込めて、戦後の物不足の暮らしからどのようにして現在を築いてきたかを、語り継いでいきます。

●助 導 宮脇孝生氏(流通経済大学教授)

●企 画 熟年広場(白梅)

第5分科会

熊川分水の保全と景観

生活に密着した熊川分水は、歴史的価値があります。その分水の保全と景観や関係点などをみなさんといっしょに語り合います。

●助言者 高崎昌作氏(福生市文化財保護審議会委員)

●企 画 熊川分水に親しむ会(白梅)

第6分科会

玉川上水の現状と保全規制について学ぼう

玉川上水の現状や環境、史跡保存に関する規制について、みなさんと一緒に学び話し合います。

●事例報告者 滝島康氏(福生市土木課長)

小堀康氏(福生市都市計画課長)

●企 画 玉川上水遊歩道を考える会(本館)

第7分科会

「もったいない」を考える

マータイさんが提唱した「もったいない」の言葉をテーマに、どのように環境問題や命に結びつけていくのか、みなさんと一緒に考えます。

●助言者 田中三代司氏(福生環境市民会議「ゴミ減量プロジェクトメンバー」)

●企 画 白梅分館有志